

会議記録

●会議名 令和6年度 第3回丹波市社会教育委員の会議

●日時 令和6年10月29日(火) 13:30~15:30

●場所 丹波市役所本庁第2庁舎 ホール

●出席者 別添「出欠票」のとおり

●内容

1 開会(社会教育・文化財課長)

2 あいさつ(教育部長、議長)

3 報告事項

(1) 第3次丹波市教育振興基本計画の策定状況について

4 協議事項

(1) 令和6~7年度丹波市立文化ホール事業推進会議委員の推薦について

(2) 令和7年度社会教育事業計画について

・担当課長から説明(P1~P3)

【質問・意見】

委員

子育て支援施策検討委員会について、詳細を教えてください。

社会教育・文化
財課副課長

子育て支援施策検討委員会については、令和6年度から始まった会議で、先般、第1回目が開催されました。来年度以降も継続的に行う会議ですので、ひとつの連携の機会と捉え、記載しています。

委員

丹波市の生涯学習に関して、様々なニーズや年代に合わせた学習機会の提供が必要だと考えています。

今回の事業計画を見ていると、例年どおりだと感じました。市民活動支援センターが取り組んでいる生涯学習事業等も計画に記載をお願いしたいと思います。また、作成段階での情報共有もお願いします。

| | |
|------------|--|
| 議長 | 自治協議会への活動支援の地域づくり交付金に関して、行政と地域とが参画と協働の理念を共有して活動できているのかといったチェック機能はありますか？ |
| 市民活動課長 | 全て細かくではありませんが、確認させていただいています。 |
| 議長 | せつかくの交付金ですので、本来の目的に則して使用されているのかのチェックは必要だと思います。 |
| 副議長 | 地域・学校における人権学習の推進について、学校の先生がDVDを借りられると聞きましたが、地域の自治会で行われる住民学習の参加者が減少しています。もっと参加者を増やして人権学習について進めていかなければならないと思いますが、どのように進めていかれるのか教えてください。 |
| 人権啓発センター所長 | 委員の意見のとおり、住民人権学習は、自治公民館活動の中で取り組んでいただく形で、過去から進めています。コロナ禍により地域の活動が縮小されたことで、住民人権学習も100%近い実施数だったものが、半分程度に減少しましたが、自治公民館活動が再開されて、地域で交流する中で住民人権学習も再開されてきています。DVDを使って勉強していただく、出前講座を利用させていただくなど、主体的に地域の中で学習していただいていることを支援することで進めていきたいと考えています。 |
| 委員 | 人権に関して、男女共同参画という項目はこの計画には入っていないのですか。 |
| 人権啓発センター所長 | 男女共同参画の取り組みについては男女協働参画計画という計画に入っています。男女共同参画に関してはそちらで実施していくこととしています。 |
| 委員 | 住民人権学習について、各家1人参加してくださいと呼びかけがありますが、参加されるのは男性がほとんどとなっています。もっと積極的に参加されるように人権啓発センターからも声掛けをする必要があると思います。人権については、常に学び続ける必要があることだと思いますのでよろしくお願いします。 |

委員

住民人権学習推進員の方は、地域の役職としてされている方もいますが、地域によっては、自治会長と兼務でされている方もおられます。自治会、地域づくりの現場においては人材が少なく、皆さん多忙なので、たくさんの方が推進員役をすることも必要ですが、現場の状況を見つつ、地域の社会教育や生涯学習を推進し、支えていくような人材を育てていくことも必要だと思います。

参加してくださいといった伝え方では参加されない世代の方はいると思います。そのような世代に人権の大切さをどのように伝えていくかということを検討する必要があると思います。

・担当課長から説明（P 4～P 6）

【質問・意見】

委員

学校教育でどんなことをされているのかを踏まえつつ、社会教育では何が必要かということを考えることが大切かと思っています。

市内社会教育施設において、さまざまなイベントをされていますが、やはりPRが必要だと思います。

丹波ゆめタウンのゆめ広場にあるモニターの内、1つは丹波市のものだと聞いたことがあり、1つはずっと動いていないままになっています。モニターに流れている映像を見られている市民は多いため、CMなど動画を流すことで、施設のPRが図れると思います。

社会教育・文化
財課長

モニターにつきましては、所有者の確認を行います。

施設のPRについて、美術館で展覧会を開催する際には目標観覧者数として、6,000人を目指しています。しかし、各展覧会の観覧者数は目標値に達していません。そこで「手塚治虫展」を開催した際に、中に展覧会の案内を入れたポケットティッシュを配ったところ、5,400人という目標にかなり近い数字に達し、効果があったと感じています。

委員

水分れフィールドミュージアムの今回の企画展「うんこ展」はとても良い企画展だったと思います。子どもたちも楽しんでおり、昆虫の内臓の説明があるなど、大人も初めて知るようなことも多く、感激しました。また、このような企画をお願いします。

委員

植野記念美術館のことなど、細かくたくさん書いていただいているのですが、歴史民俗資料館については、少し小さくまとまっているように感じます。

このように項目を立てるのであれば、例えば、市島民俗資料館の開館ボランティアも吉見小学校の校外学習受け入れをしていますので記載していただきたいと思います。また、この受け入れに関しては、自治協議会が仲介となり、自治協議会の事業を通して受け入れ、解説や案内もボランティアで担当するという仕組みを3年程続けています。補助金が支払われている事業ではありませんが、こういうこともやっているという意味でも記載していただきたいと思います。

また、歴史講座を YouTube で配信していただいています。美術館は YouTube 配信も項目として挙げていますので、記載内容の統一をしていただきたいと思います。

社会教育・文化
財課長

YouTube 配信につきましては、専門家の先生の話が聞ける講座として配信していますので、記載させていただきます。歴史講座は、非常に人気が高い講座となっており、魅力的な講座を開講するにあたり、より地域性の高い講座内容となるよう先生と調整していきます。

委員

保存活動や新しい企画も大切だと思いますが、民俗芸能などの社会教育という言葉がなかった時代から続けられてきたものは、地域の絆を深めたり、世代間交流を促すなど、上の世代が次の世代に伝えるシステム自体が社会教育の一環だったのではないかと考えています。

・担当課長から説明（P 7～P 9）

【質問・意見】

委員

少年少女スポーツ指導者資格取得補助を項目に入れていただけていますが、月曜日は子どもたちが授業中に寝ている状況を少年少女スポーツ団の方にも勉強していただかないと、いつまで経っても月曜日は子どもが疲れ切った状況が続いてしまいます。

スポーツ推進委員会の方でも伝えましたが、障がい者のスポーツについても社会教育の実施計画に掲載していただきたいと思います。丹波市は障がい者のスポーツに対して優しくないと感じていますので、障がい者の方が自由に使用できるような施設の改修などを考えていただきたいです。

| | |
|----------------|---|
| 文化・スポーツ 課長 | 委員の意見については、様々な場でお聞きしています。引き続き取り組んで参ります。現場を見に行くなど動き始めていますので、またアドバイスをいただきたいと思っています。その際は、よろしく願いいたします。 |
| 議長 | 指導者への指導や研修はスポーツ協会との話し合いになりますか。 |
| 文化・スポーツ 課長 | 現在の勝利至上主義からの脱却、変化についてはスポーツ協会が中心となって取り組んでいるものです。 委員の意見のような研修も過去にしており、今後も進めていく必要があります。スポーツ協会にも取り入れていただくようにこちらからも働きかけをしていきます。 |
| 委員 | 指導者の意識が低ければ、子どもたちが怪我をして自分の好きなスポーツが将来できなくなることもあります。身体の発達、精神の発達の観点からすると、幼い頃から強度のある練習をすることは身体に偏りができるため良くありません。様々なスポーツをやっていくことは本来良いはずですので、考えてください。 |
| 委員 | これからの社会教育の中で国として重要視していることは、デジタル対応だと思います。スマートフォンやタブレットなど、慣れない方は操作が難しいことが問題です。電子図書館を導入いただいて使いやすいものだと思います。しかし、使いたいけどどう使用したらいいのかという方も当然います。図書館でも電子図書館の使い方講座のようなものが必要だと思います。 |
| 社会教育・文化 財課長 | スマートフォンに限って言いますと、民間でできることは民間でやっていただくことも一つの手だと思いますし、一緒になって普及していくことも可能かと思っておりますので、今後検討していきます。 |
| 委員 | 小・中・高校生まではタブレットを持っていますが、高齢者はスマートフォンしか持っておらず、字が小さく見づらいことがあります。予算の問題もあるとは思いますが、タブレットを貸し出すようなことは考えていますか。 |
| 社会教育・文化 財課長 | 予算の問題もあり、貸し出すということは難しいと思いますが、東京でタブレットの貸出を行い、一定期 |

間使用後は買い取りとするとといったことをされている事例がありました。事例が無いというわけではないため、他市の事例を参考に考えていきたいと思えます。

委員

丹波市内には膨大な古文書を個人で所有している人がいます。それを市島資料館で預かっています。図書館は地域の資料を保存することも役割かと思いますが、どのようにお考えですか。

社会教育・文化
財課長

郷土資料などの貴重なものについては、図書館で厳重に保管をしていくことは大切なことだと感じています。図書館には分館がありますが、スペースが狭く、限られたスペースしかありません。また資料を保管していくにあたり、防虫等の設備が整っていませんので、現時点では難しいと考えています。そういったところも含めて、現在、図書館のあり方というものも考えていますので、今後の検討課題として考えていかなければならないと思えます。

5 テーマ研究「社会教育における子どもとの学び」

(1) 令和6年度第2回社会教育委員の会議グループ討議及び子育て学習センターの取組見学の振り返り

【質問・意見】

委員

柏原子育て学習センターへ行かせていただきました。「もぐもぐわーく」「のちっばれ」2つのグループが共同でハロウィンイベントを行っていました。役割分担を上手くされていました。話を聞くと、子どもが小さい頃に利用していて、卒業した後も、小学校の放課後に集まって活動していると聞きました。

自分が利用していた頃のお母さんが中心となって、グループ活動を続けておられ、よく続けられているなど感じました。放課後の居場所になっていることから、子どもたちの利用の仕方について以前とは意味合いが変わってきているのかなと感じました。現役の保護者とは出会わなかったのでお話を聞くことはできていません。

委員

柏原子育て学習センターへ行きました。屋外に遊具があり、パーティールームや図書室もあるため、とても施設の良いと感じました。ハロウィンイベントに参加して、楽しい雰囲気だと感じました。

乳幼児の親子が多いイメージを持って参加しました

が、意外にも小学生の利用者が多く驚きました。乳幼児の頃から利用されていた方は小学生になっても続けておられ、参加されていた保護者が今はスタッフとして参加されており、素晴らしいと思いました。

参加している父親同士で教え合いをしており、つながりができていると感じました。

参加している方の様子を見てみると、参加者の参加目的は少しずつ違うかもしれませんが、参加者同士がつながっていると感じたり、楽しい時間だったと参加者が感じることによって子どもにも良い影響を与えるため、とても良い活動だったと感じました。

委員

長時間の参加ではありませんが、青垣子育て学習センターに行きました。アンパンマン運動会をされていました。到着した時には既に行事が始まっていたため、直接先生や利用者とは話していません。氷上西高校の生徒が3名参加されており、一緒に子どもたちと交流して遊ぶ形で和やかな雰囲気でした。

子育て学習センターとは直接関係がありませんが、会場から新しくできた公園（青垣ひろっぴーく）が見えて、立ち寄ってみました。その日は雨で利用者がいなく、様子を見てみると、看板に「～してはいけません」という注意項目がたくさん書いてありました。これに関して、見せ方をやさしくした方が利用しやすいと感じました。ルールがあることは仕方のないことなのだろうとは思いますが、どのようにしたら子どもたちが遊びやすいのかと思いました。また、青垣子育て学習センターの隣にある施設なので活用されてみていいのではないかと感じました。

議長

3名の報告を聞いて、意見等がありますか。

委員

柏原子育て学習センターでピアサポーターとして行事がある時にお手伝いをさせてもらっています。小学生が参加するイベントがあったんだと思いました。普段は、年齢層が低い（0歳～1歳程度）子の母親が来られていることが多いです。以前、子育て学習センターで助けてもらった方々が今は指導者となり、グループを組んで活動されていることが嬉しいことだと感じています。

最近、孫が家を訪れたときに西脇市にある「みらいえ」に行きました。丹波市民も無料利用が可能でとても素晴らしい施設だと思いました。本当は、遠くから丹波市に

来たのだからもっと丹波市の良さを知ってもらいたかったと思っています。ただ、雨日だったこともあり、西脇市に行きました。丹波市も参考にさせていただきたいと思いました。

委員

子育ての観点から、地元施設と連携が取れていないところがあると感じていることに加え、子どもたちが公園で遊んでいる姿をなかなか見ないと感じています。広い公園があるのにもかかわらず使用されていない、手入れが行き届いていないことなど、感じる場所があり、これから考えていく必要があると思いました。

資料からは、計画を立てている部署と現場とがどのようにつながっているのかがわかりづらいと感じました。現場の状況と円滑につながっていくと良いと思いました。

議長

テーマ研究について、子育て学習センターで話を聞かせていただいた状況も踏まえて、次回の会議時に全員で振り返りをしたいと考えています。まとめることや方針を立てるということではありませんが、大切なことを振り返り、今回のテーマ研究に区切りをつけたいと思います。

委員

もう振り返りとなると全員モヤモヤすると思います。

議長

振り返りをし、次を考えるということにします。

委員

現在、国の動向の中で社会教育人材の養成及び活躍促進の在り方についてまとめられています。具体的には、社会教育士や地域学校協働活動の人材配置の中で社会教育士の称号を生かすということを国が進めています。来年度に向けて、社会教育士のことについて話し合いをし、皆さんと情報共有したいと思っています。

議長

社会教育士を取り上げるかについては、考えさせてください。

テーマ研究については、次回の会議で振り返りをし、次のテーマについては、委員に相談させていただきたいと思います。

6 その他

(1) 丹波地区社会教育委員協議会

①第1回研修会

- ・欠席された委員には資料を配布しています。

②第2回研修会

- ・令和6年12月～令和7年1月中旬に多可町へ視察研修の予定。

(2) 兵庫県社会教育研究大会

- 荒木議長、森奥副議長、細見委員、橋本千英委員が出席の予定。

(3) 各課からの連絡事項

- ・チラシを机上配布しています。

(4) その他

次回：令和7年度2月14日（金） 13：30～15：30

丹波市役所本庁第2庁舎 2階ホール

7 閉会（副議長）